



もっと笑顔のためにできること
いつも胸に

被災地の現状(報告)

宮城県名取市

特別養護老人ホーム **うらやす**

佐々木 恵子

はじめに

- 被災から3年半あまり
復興について発表する機会をいただいたことは、非常に感慨深いものがあります。
- これまでのご支援に
心から感謝申し上げます。

施設再建の状況

- 宮城県名取市閑上地区で津波被害によって全壊した施設(7事業)

+

- 法人理事長の経営する内科クリニック

内陸部に移転し、複合(合築)型施設として
再建 1年2カ月経過



◆再建の現況

- ・構造規模：鉄筋コンクリート造 4階建
- ・建物面積：8649.38㎡
- ・敷地面積：14854.21㎡

◆再建年月日 平成25年7月31日

◆事業再開年月日 平成25年9月1日

◆再建場所

宮城県名取市下余田字鹿島86-5
被災施設から約5km西部(内陸)に移転

施設概況

	施設名(施設種別)	開設年月	定員	建物の状況	面積 (㎡)
1	特別養護老人ホームうらやす (特別養護老人ホーム) 従来型(居室45)⇒個室ユニット型(80)	平成8年4月	80	合築型施設2.3階	4732.01
2	ケアハウスうらやす (ケアハウス・特定入居者生活介護)	平成18年5月	30	合築型施設4階	1853.33
3	認知症高齢者グループホームうらやす (認知症高齢者グループホーム)	平成18年7月	18	合築型施設1階	1003.43
4	障害者グループホームうらやす (障害者グループホーム)	平成18年7月	4	合築型施設4階	295.8
5	デイサービスセンターときわ (通所介護)	平成8年4月	39	合築型施設1階	583.84
6	在宅介護支援センターちとせ (在宅介護支援事業所)	平成12年4月		合築型施設2階	73.99
7	名取東地域包括支援センター (地域包括支援センター)	平成21年5月		敷地内別棟	
8	森内科クリニック (無床診療所)	昭和63年1月		合築型施設1階	106.98





発災時～ 避難状況





発災直後の対応

- 極限の状況で、
できることを**考え**
最善を尽くす

「**職責**」
「**工夫**」と「**チームワーク**」

福祉の森グループ

宮城県名取市岡上
 特別養護老人ホーム
 ケアハウス **うらやす**
 グループホーム

森内科クリニック

仙台市若林区
 介護老人保健施設
春風のころ

仙台市太白区
 特別養護老人ホーム
春の森から

デイサービス・在介・包括

系列の2施設で2年半に及ぶ避難生活



居室の状況
 個室に
 ベッド2台

- ・系列施設(2施設170ベッド)があったこと
- ・個室ユニット型の施設であったこと



避難生活の学び

- 系列施設間でケアの方向性の確認
- 震災前後の**ケアの継続**

リロケーションダメージは
場所よりも人

再建

～復興～

に向けて

被災後の課題

- 収入の激減
- 雇用の継続
- 定員割れ(利用者の確保)



ニーズがあるのに
対応できないジレンマ

- 急増する利用希望者(震災による)

解決策：早急な施設復興

今だからできること
やらなければいけないこと
～福祉施設の真価が問われる～

心をひとつにする ベクトルの向きを合わせる

- 理念の再確認
- 事業計画の見直し
- 使命の再認識

地域資源としての施設
地域に目を向けた職員

雇用の継続

ケアの継続
震災前後

職員の生活を守る
被災・心の傷

ケアの質の担保
利用者理解・理念の共有

より深まった思い

更なる質の向上

ゆりあげ

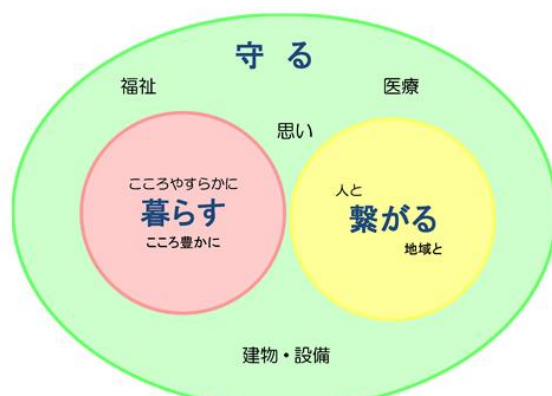
淘上プロジェクト

～復興に向けて...私達だからできること～

ゆりあげ

- ・ 3.11津波で甚大な被害を受けた「閑上」
- ・ かつては「淘上」と記されていた
- ・ 淘（よなげる） すすがれる
- ・ 津波で洗われた今、更なるレベルアップを

複合施設のメリットを生かして ～暮らす 繋がる 守る～



生活視点+防災視点

⇒地域の安心のシンボル

施設復興に向けて ～防災のモデル施設を目指して～

- 利用者と職員を守るために
 - 生活視点に加えて防災視点を合わせもつ
 - 立地(防災の観点)と構造(堅牢な階層)
 - 被災の体験・専門的考察
 - 緊急時速やかに一体化できる施設配置
- 防災拠点にもなりうる施設
 - 福祉避難所の想定(一時・1次・2次避難)
 - 地域の安心のシンボル・復興の促進

施設再建への歩み

23年度

- 4月 再建計画策定(移転)
- 5月 県市に報告
- 6月 福祉医療機構借入相談
- 7月 建設予定地の確保
- 9月 福祉医療機構借入申込
- 10月 仮設グループホーム

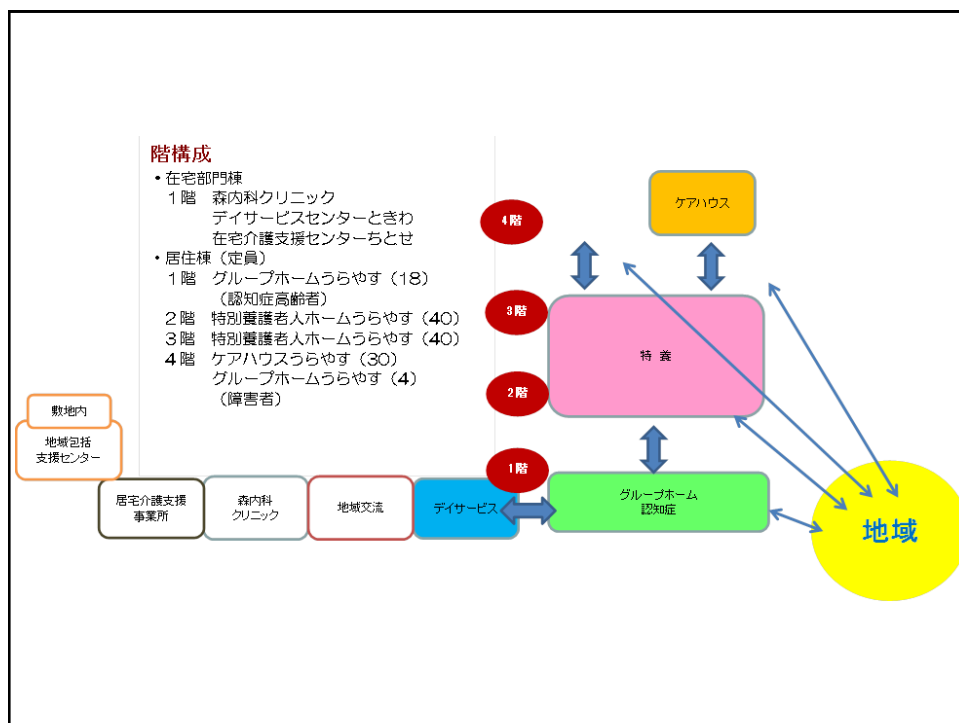
24年度

- 4月 移転先造成工事
- 10月 建設工事着工

平成25年度 7月竣工・9月再開

災害時の 教訓から

- ・ハード
- ・ソフト











災害時にだけ 特別な動きはできない

- 災害想定 マニュアル 訓練  **重要!**

さらに**重要**なのは

想定外の過酷な状況下で、

何が最善かを**考え**

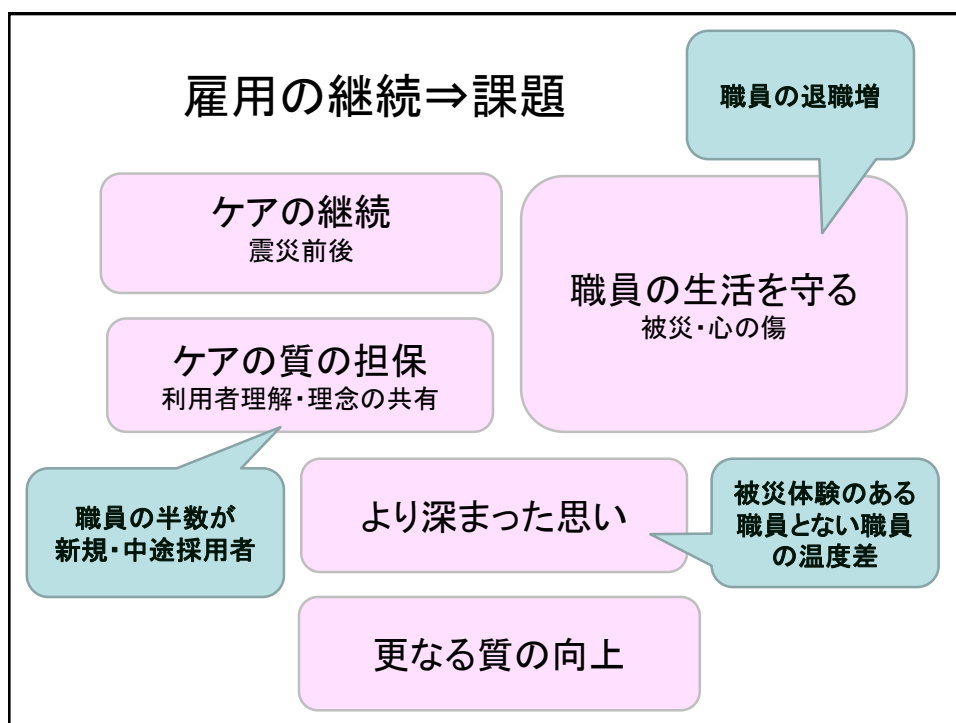
動ける職員がいる

「**職責**」 「**工夫**」 「**チームワーク**」

法人の理念
職員の育成

現状の課題

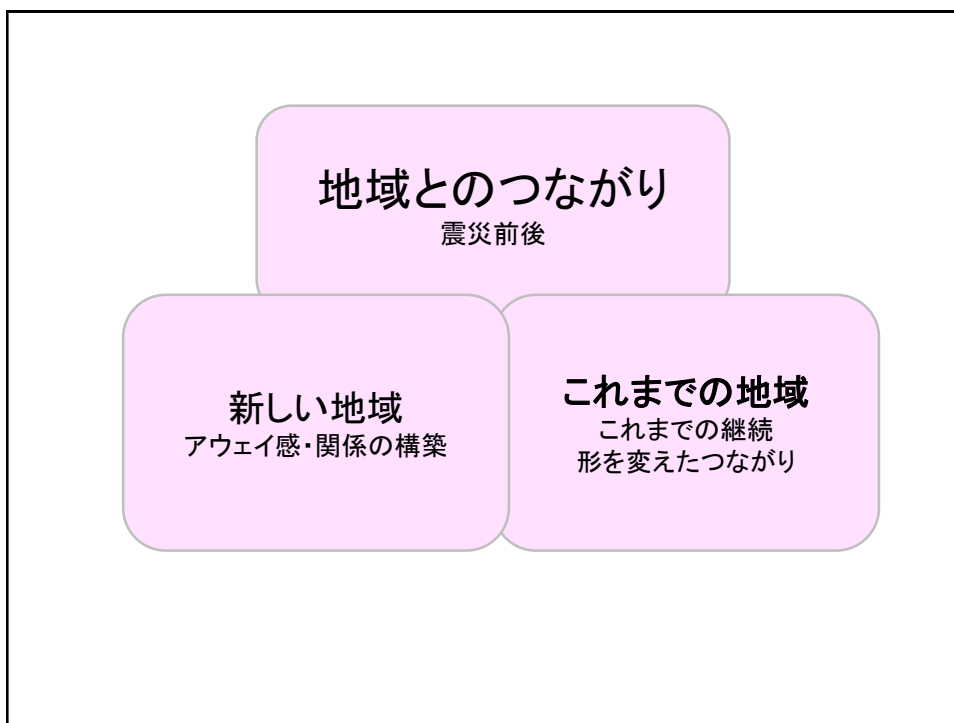
- ・人材育成
- ・地域とのつながり



全国社会福祉法人経営者協議会職員応援事業							
期間 ①平成25年10月1日～平成26年3月31日							
②平成26年6月1日～平成26年7月31日							
応援法人 15 応援施設 20 応援職員 27 延503日							
	法人名	施設名	氏名	応援期間	日数	25年度	26年度
熊本県	リデルライトホーム	特別養護老人ホームリデルホーム	1	H25.10.1～	H25.10.16	16	16
	"	"	2	H25.10.1～	H25.10.16	16	16
	8法人	"	3	H26.6.16～	H26.7.1	16	16
	15人天恵会	特別養護老人ホーム有明ホーム	4	H25.10.16～	H25.10.31	16	16
	255日	"	5	H25.10.16～	H25.10.31	16	16
	代医会	特別養護老人ホーム早尾園	6	H25.10.31～	H25.11.15	16	16
	権現福祉会	介護老人保健施設向春苑	7	H25.10.31～	H25.11.15	16	16
	"	"	8	H26.6.1～	H26.6.16	16	16
	"	"	9	H26.6.16～	H26.7.1	16	16
	"	"	10	H26.7.16～	H26.7.31	16	16
	慈雄会	特別養護老人ホーム天望庵	11	H25.11.15～	H25.11.30	16	16
	"	"	12	H25.11.15～	H25.11.30	16	16
	水光会	サテライトしらぬい荘	13	H26.6.1～	H26.6.16	16	16
	緑新会	グループホームしんかわ	14	H26.7.1～	H26.7.16	16	16
	恵寿会	障害者支援施設くまむた荘	15	H26.7.1～	H26.7.31	31	31
						128	127
青森県	弘前愛成園	養護老人ホーム津軽ひかり荘	16	H25.12.1～	H25.12.30	30	30
	"	養護老人ホーム弘前湯清園	17	H26.1.3～	H26.1.31	29	29
	1法人	特別養護老人ホーム弘前静光園	18	H26.1.31～	H26.2.28	29	29
	4人	"	19	H26.2.28～	H26.3.31	32	32
120日						120	
神奈川県	中心会	えびな北高齢者施設	20	H25.11.30～	H25.12.15	16	16
	"	中心第二老人ホーム	21	H25.12.15～	H25.12.30	16	16
	6法人	"	22	H26.1.14～	H26.1.29	16	16
	8人相模福祉村	特別養護老人ホーム縁JOY	23	H25.12.30～	H26.1.14	16	16
	126日	思綺財団	24	H26.1.29	H26.2.13	16	16
	神奈川県同窓協議会	特別養護老人ホーム	25	H26.2.13	H26.2.28	16	16
	母子福祉会	高齢者福祉施設しおん	26	H26.2.28	H26.3.15	16	16
	照陽会	みんなと暮らす町	27	H26.3.15	H26.3.30	16	16
共生会	藤沢養護老人ホーム	27	H26.3.15	H26.3.30	16	16	
合計					503	376	127

介護職員応援への感謝

- 即戦力となっていた
- 被災に関する心情への細やかな配慮
- 謙虚な姿勢に学ぶべきことが多かった
- 社会福祉法人のあり方、福祉に携わるという意味を改めて考えた



- ・認知症サポーター養成講座
- ・地域ケア会議







